

CONTENTS

第1章

バイタルサインとSpO₂

①体温

- 2 健康成人の体温の平均値
- 2 腋窩体温測定時のポイント

②脈拍

- 3 脈拍の正常値
- 3 脈拍測定の方法
- 3 脈のリズム・強さ・左右差

③呼吸

- 4 呼吸のパターン
- 5 安静時の呼吸回数平均

④血圧

- 6 正常値
- 6 血圧に影響を与える因子
- 6 脈圧
- 7 血圧測定のポイント

⑤SpO₂

- 8 SpO₂とは
- 8 SpO₂測定のポイント
- 9 SpO₂値に対する認識
- 9 パルスオキシメーターの精度

第2章

フィジカルアセスメント

①呼吸状態のアセスメント

- 12 呼吸状態の把握
- 12 胸郭の前後径と横径
- 13 胸部の視診
- 13 胸郭の変形
- 15 胸部の触診
- 15 胸部の拡張
- 16 音声振盪法の触れ方
- 16 胸壁全体の触診

- 17 肺野の打診
- 17 肺野全体の打診
- 18 横隔膜の評価
- 19 肺野の聴診
- 19 呼吸音の領域と聴診部位
- 19 聴診のポイント
- 21 副雑音の種類と特徴

②腹部のアセスメント

- 22 はじめる前の準備
- 22 腹部の視診
- 23 腹部の聴診
- 24 腹部の打診
- 25 腹部の触診

③心音のアセスメント

- 26 心臓の位置
- 26 正常な心音
- 27 正常な心音のタイミング
- 28 心尖拍動の視診
- 28 心尖拍動の触診
- 29 心雑音(スリル)の触診
- 30 心音の聴診
- 30 心音の聴こえ方
- 31 心音の異常所見

第3章

コミュニケーション

①訪問診療医との連携方法

- 34 DESC法

②病院との連携方法

- 35 連絡先と連絡方法の確認
- 35 訪問看護報告書のコツ

③ケアマネジャーとの連携方法

- 36 連携方法のポイント
- 37 認識齟齬をなくすための方法

④家族との連携方法

- 38 連携方法のポイント
- 39 意思決定支援で大切なこと

第4章 緩和ケア

①疼痛コントロール

- 42 全人的苦痛(トータルペイン)
- 42 痛みとは
- 43 痛みの病態による分類
- 44 疼痛緩和の目的
- 44 痛みのアセスメント
- 45 痛みの評価スケール
- 44 痛みのメカニズム
- 46 薬物療法による疼痛緩和
- 46 鎮痛薬使用の4原則
- 46 使用する主な鎮痛薬
- 51 使用する主な鎮痛ポンプ
- 52 副作用の観察
- 54 疼痛緩和における看護ケア
- 55 4側面のアセスメント
- 55 その他のアセスメント・ケア

②意思決定支援

- 56 病いの軌跡
- 57 意思決定支援の必要性
- 58 意思決定支援の流れ
- 60 アドバンス・ケア・プランニング(ACP)
- 61 在宅における意思決定支援
- 62 多職種の情報共有

第5章 皮膚・排泄ケア

①褥瘡ケア

- 66 褥瘡の好発部位
- 67 NPUAP分類(2007年改訂版)
- 68 DESIGN-R®2020 褥瘡経過評価用
- 70 褥瘡予防:スモールチェンジ
- 70 褥瘡発生時の確認事項

- 71 ずれと浸軟の予防例
- 71 福祉用具やケア材料の把握

②ストーマケア

- 72 ストーマ装具の構造
- 74 単品系装具と二品系装具
- 74 面板の種類
- 75 面板の形状とストーマ・腹壁の特徴
- 76 フランジの形状と特徴
- 77 ストーマ装具の交換方法
- 77 装具交換の手順
- 78 装具交換時の観察
- 78 排泄物が漏れた場合のケア
- 78 用手成形皮膚保護剤による補正
- 78 粉状皮膚保護剤による皮膚障害のケア
- 79 アセスメントのポイント

③創傷(スキン-テア)の予防と管理

- 80 スキン-テアとは
- 80 スキン-テアの好発部位
- 81 スキン-テアのアセスメント
- 81 STAR分類システム
- 81 発生する状況
- 81 個体要因のリスクアセスメント
- 82 スキン-テアの予防ケア
- 83 スキン-テア発生時のケア
- 84 在宅での創傷ケアの基本
- 85 創傷の処置方法例

④スケールなど

- 86 ブリストル排便スケール
- 87 医療関連機器圧迫創傷(MDRPU)
- 88 失禁関連皮膚炎(IAD)

第6章 リハビリテーション

①目標とプログラム立案

- 92 リハビリの目標設定
- 92 リハビリ介入時のポイント
- 94 リハビリの視点の違い
- 95 ホープとニーズの違い

- 96 プログラムの立案
- 97 呼吸補助筋
- 98 呼吸補助筋のリラクゼーション
- 98 呼吸介助
- 99 肩甲骨の運動
- 100 ADLの練習
- 100 おむつ交換や更衣のときの体位変換
- 100 トイレ介助や車椅子への移乗時
- 101 起き上がり練習
- 102 立ち上がり練習
- 103 終末期のリハビリ
- ②運動による筋肉強化
- 104 呼吸状態のアップ
- 104 深層部の筋の賦活
- 105 骨盤中間位での座位の運動
- 105 ももあげ
- 105 膝伸ばし
- 106 体幹筋の強化
- 106 胸椎伸展のストレッチ
- 106 キャットアンドカウ
- 106 バードドック
- 107 回旋運動
- 107 床から立ち上がる力の強化
- 107 片膝立ち↔ランジ
- 108 転倒場所チェックリスト

第7章 看護技術・医療処置

- ①輸液・点滴
- 112 輸液剤の種類
- 114 末梢静脈点滴
- 114 準備物品
- 114 血管の選び方
- 115 駆血のポイント
- 115 穿刺・点滴の開始
- 116 訪問看護ならではの工夫・注意点
- 117 皮下点滴
- 118 準備物品

- 118 穿刺部位の選定
- 119 穿刺方法
- 119 滴下不良の場合
- 119 訪問看護ならではの工夫
- ②中心静脈栄養
- 120 適応
- 120 栄養法の選択
- 121 CVポートカテーテルの種類
- 122 必要物品
- 123 穿刺手順
- 124 起こりうるトラブルと予防策
- 125 訪問看護ならではのCVポート管理の工夫
- ③在宅酸素療法
- 126 目的と適応
- 126 機器の種類と管理方法
- 127 酸素ボンベ
- 128 訪問看護ならではの在宅酸素療法のポイント
- ④爪のケア
- 129 爪切り
- 130 爪のトラブルと対応

第8章 福祉用具の選び方

- ①介護保険を使用した福祉用具の種類
- 134 福祉用具貸与(レンタル)
- 135 福祉用具購入
- 136 住宅改修(工事)
- ②障害者総合支援法を利用した補装具の使用
- 137 補装具
- 138 日常生活用具
- ③福祉用具の必要性の有無の判断
- 139 情報収集の仕方
- 139 居住環境をふまえたアセスメント
- ④多職種連携の必要性
- 152 索引

※本書は、「Nursing」2024年冬号(Vol.44 No.1)を再編集し、新規原稿を加えて再構成したものです。